



タイヤ通過わだち部分のみヒーティング

iRoad わだちロードヒーティング概要

- ・ タイヤ通過わだち部分のみヒーティング
- ・ 構造が単純で施工が容易
- ・ 融雪対象が小さいため低圧受電
- ・ 施工・維持費用の大幅削減 **-75%以上!**

コスト概算比較

工法	施工対象	施工費用 (万円)	維持費用 (万円/年)	トータル費用 (万円/15年)	適用
全面ロードヒーティング (電熱線マット状)	幅員3.25m、延長105m (融雪面積341㎡)	3,995	157	6,350	高圧受電 188kw
ライン型ロードヒーティング (電熱線)	幅員3.25m、延長105m (融雪面積74㎡)	1,000	32	1,480	低圧受電 36kw
iRoad ヒーティング※ (アモルファスヒーター)	幅員3.25m、延長105m (融雪面積74㎡)	1,000	↓	↓	低圧受電 50kw

※施工費用はライン型（電熱線）と同等、アモルファスヒーターの熱効率率は電熱線の数倍あるので維持費用、トータル費用はライン型よりさらに削減可能

iRoad わだちロードヒーティングの目的

- ・ スリップして坂道を登れなくなるスタック防止
- ・ 路面凍結、アイスバーンをなくしスリップ事故を防止
- ・ 全面ロードヒーティングに比べコスト1/4の大幅な削減
- ・ ロードヒーティングの工事を簡単にする
- ・ ロードヒーティングのメンテナンスをほぼ不要にする

iRoad わだちロードヒーティングの特長

- ・ 国交省東北技術事務所が発案、開発、実証した工法、超省エネ（ライン型）ロードヒーティングを採用
- ・ この工法は東北地方整備局、土木学会、科学技術庁などから表彰され、秋田で4橋に施工され効果を実証済
- ・ 車輪が通るわだち部分のみをライン状に融雪・凍結防止
- ・ 電熱線の代わりに高効率な**アモルファスヒーター**を使用

アモルファスヒーターとは？

- ・ 日本で発明のアモルファス合金リボンをイスラエルのヒーター技術で製品化
- ・ 欧米など世界21か国で実績
- ・ 強靱で腐食しない遠赤外線ヒーター
強度：鉄の20倍
腐食：ステンレスの1/100万



アモリボン®

iRoad わだちロードヒーティングのご相談は



0120-07-4652



info@amorphous-heating.jp

発売元

株式会社 **カメダデンキ**

〒570-0002 大阪府守口市佐太中町6丁目47-7



Kameda **環境デザイン工房**

http://www.eco-kameda.com/products/amorphous.html